



令和初めてのお正月に向けて (小平ふるさと村)

令和元年12月定例会は、11月26日から12月19日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度の各会計歳入歳出決算(詳細は2面に掲載)を認定するなど、22件の市長提出議案を可決・認定・同意しました。議員提出議案は、放射線副読本の記述内容の見直しを求める意見書など3件を可決し、4件を閉会中の継続審査としました。請願は継続審査となっていた1件を採択しました。

また、11月27日から3日間にわたり、25人の議員から60件の一般質問がありました。

12月定例会

令和元年度一般会計補正予算(第3号) など25議案を可決

—平成30年度各会計歳入歳出決算を認定—

新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日ごろより市議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代表して厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月1日に天皇陛下が御即位され、「令和」の時代が幕を開けました。10月には消費税が10%に引き上げられ、市民生活に大きな影響が出るなど時代の節目といえる年となりました。

また、アジア初となるラグビーワールドカップが開催され、選手たちの勇姿が日本中に元氣と勇気を与えてくれた一方で、熊本県熊本地方を震源とする地震や、東日本に記録的な大雨をもたらした台風19号など、大きな災害が各地に甚大な被害を及ぼし、災害に対する備えの重要性を改めて認識した一年でもありました。被災されたすべての方に心からの御見舞いを申し上げます。

そのような中で、小平市議会におきましては、昨年4月の統一地方選挙により、市民の皆様から信託をいただいた28人の市議会議員が選出され、新たな構成でスタートをいたしました。現在、市政への政策提言等の実施に向けて各常任委員会が動き出しました。引き続き、市民の皆様にとってわかりやすく、開かれた市議会を目指し、継続して議会改革に取り組みしていく所存です。

本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されるほか、令和2年度は、小平市第三次長期総合計画基本構想の最終年度となります。少子高齢化に伴う課題解決や子育て環境の充実、災害対策など、さまざまな課題に目を向け、市民の生活向上に寄与できるよう、議員一同、全力を尽くしてまいりますので、引き続きご指導を賜りますようお願いいたします。

新春に臨み、本年が皆様にとりまして笑顔の絶えない幸福な一年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

副議長
津本裕子

議長
磯山 亮

◆議員の寄附行為や時候のあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

